



創立 昭和32年4月19日
 会長 辻田真海
 会長エレクト 松井大典
 副会長 河村善一
 幹事 中谷昌紀
 公共イメージ 鶴山 学



Vol. 67 No. 20 (2023-24)
 2024(令和6)年1月26日発行

2023-24年度 地区スローガン
個性、基本、求心力

【事務局】 橿原市久米町 926 奈良県薬業会館内
 TEL : 0744-25-3986/FAX : 0744-25-3985
 E-mail : kro@jeans.ocn.ne.jp

【例会日】 金曜日 12時30分~13時30分
 橿原市久米町 652-2 THE KASHIHARA
 TEL : 0744-28-6636(ホテル)

1月は、「職業奉仕月間」(Vocational Service Month)です。

第 3172 回例会報告書

2024 (令和6) 年 1 月 19 日

司会 副SAA・原田杏子会員
 R.song 我ら日本のロータリアン
 ソング・リーダー 宇田麻衣子会員

国際交流が盛んになってきた現在において、伝統文化に触れ、日本文化を学ぶことは大切なことだと思います。自国のことを知らずに国際交流は成り立ちません。今日は会員皆様と共に勉強させていただきます。

ゲスト

卓話講師：20 代目高山茶筌師 谷村丹後氏
 米山奨学生 フィン・ティ・ニューさん

幹事報告

- △1月誕生日
 好川嘉則会員 (1/1) 尾田肇睦会員 (1/26)
 辻田真海会員 (1/4) 杉本行彦会員 (1/8)
 吉川弘晃会員 (1/12) 関 将之会員 (1/17)
 林田一真会員 (1/19) 島田昌則会員 (1/22)

出席報告

会員 50名 (1/19) 出席者 31名、MU0名、出席率 70.45%
 会員 52名 (12/22 補正) " 29名、" 7名、" 80.00%



・還暦祝い品の贈呈：吉川弘晃会員

ニコニコ箱

- ◎本日の卓話の担当です。皆様よろしくお願ひ致します。……………西尾兆司会員
- ◎年末年始の例会を欠席しましたので。……………井上輝好会員
- ◎入会お祝い 鶴山 学会員 (3年)

会長挨拶

○先週の理事会報告からさせていただきます。能登半島地震復興支援について、地区災害対策基金より 1,000万円が現地の第 2610 地区へ拠出されました。地区内会員一人当たり 2,300 円を寄付したことになります。現地での受け入れ態勢が整っていないため、目下のところクラブでの支援は見合わせることにします。現地が落ち着いて、支援が必要となった場合は、その時点で再度考えたいと思います。

「米山奨学生ハラスメント」の懸案が問題となっています。地区としては、地区内全クラブを対象に緊急会議を開き、事情説明と対策案を提示されました。当クラブとしても、クラブとしてどうするのかを明示し、学びの場を設ける方向で検討しています。

続いて会長挨拶をさせていただきます。本日の卓話は職業奉仕委員会担当で、奈良県の伝統工芸である茶筌作家の谷村先生をお迎えし、お話をお伺いします。

- △1月結婚記念日 仲谷 登会員 (1/17) 上田充希会員 (1/8)
- △1月入会 辻田真海会員 (19年) 鶴山 学会員 (3年)

- △米山奨学生フィン・ティ・ニューさんへ2月分の奨学金の授与 (2月に一時帰国されるため)



四つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

△例会変更ほか（詳細は掲示板にて）

- ・奈良東 RC
4月10日（水）・5月1日（水）・29日（水）・6月12日（水）休会 ※ビジター受付なし。
- ・大和高田 RC
4月30日（火）・5月7日（火）休会 ※ビジター受付なし。
- ・やまと西和 RC
①4月9日（火）→4月7日（日）地区大会に振り替え
※ビジター受付は4月9日（火）12:00～12:30まで、王寺町まさごビル1階にて。
②4月30日（火）休会 ※ビジター受付なし。
- ・奈良大宮 RC
2月6日（火）休会 ※ビジター受付なし。
- ・やまとまほろば RC
①2月8日（木）休会 ※ビジター受付なし。
②2月15日（木）場所変更→於：まほろばセンター交流室1・2
③2月22日（木）橿原 RC と合同夜間例会のため、変更→18:00～於：橿原神宮 養正殿
※ビジター受付なし。

委員会報告

○ORA・IA委員会：山田善紀委員長

- ・橿原 RAC 1月第2例会について
日時：1月24日（水）19:30開会、21:00閉会
場所：橿原オークホテル
登録料：3,000円

先日、メール・FAXでご案内をお送りさせていただきました。1月第2例会は「児童虐待を考える例会」というテーマで、今年度の橿原 RAC 会長の石走さんが担当されます。RACの例会にご出席頂くと、メーカーの対象にもなりますので、是非ご出席頂きますようよろしくお願い致します。現在、橿原 RAC は6名で活動していますが、今年度で2名が卒業します。尾上会員のご紹介で1名入会して頂けるようですので、次年度からは5名となる予定ですが、活動するには10名ほどいた方が良いということで、時間はかかりますが会員増強をして次年度に繋がりたいと思っています。そのためにも RAC がどのような活動をしているかを皆様知って頂き、お知り合いの方に RAC の見学・入会をお声がけ頂ければと思います。皆様のご出席をお待ちしております。なお、ご出席頂ける方は1月22日（月）午前中までに事務局へご連絡をお願い致します。

○出席・ニコニコ箱・ソング委員会：森 範子委員長
・地区大会について

- 日程：4月7日（日）
10:00～新会員セミナー
／青少年奉仕フォーラム
13:00～15:00 本会議
15:30～17:00 大懇親会

場所：国立京都国際会館

現在、参加者が全会員の半分を切っている状態です。できるだけ多くの方のご参加をよろしくお願い致します。なお、出欠のご返信は1月26日（金）までに事務局へお願い致します。

【河村善一クラブ管理運営常任委員長より】

担当常任委員長として、私からも少しお話しさせて頂きます。現在、18名ほどしか登録されていないので、もっと多くの方にご参加頂きたいと思っています。また、入会3年未満の皆様は地区大会に必ず出席するつもりでご準備頂きたいと思っています。多くの方のご参加をよろしくお願い致します。

○甘樫会：吉川弘晃会員

- ・第340回・341回甘樫会ゴルフコンペ（沖縄遠征）について

日程：3月26日（火）～3月27日（水）（1泊2日）
場所：那覇ゴルフ倶楽部、かねひで喜瀬カントリークラブ

甘樫会ゴルフコンペのご案内の前に、私事ですが、1月12日の誕生日で還暦を迎えました。クラブからもお祝いを頂き、ありがとうございました。還暦を迎えましたが、私自身としてはまだまだ若いと思っています。これからもクラブ活動に邁進していきますので、今後ともよろしくお願い致します。

さて、本日ご案内をポスティングしている甘樫会ゴルフコンペですが、3月に沖縄遠征を行います。楽しい企画も考えておりますので、皆様のご参加をよろしくお願い致します。

卓 話

担当：職業奉仕委員会

講師：20代目高山茶筌師 谷村丹後氏



「竹と茶筌」

太古の昔より日本人の生活文化の中に深く根ざしている竹製品が、いつの間にか日常生活用品の中からすっかり消えてしまいました。今一度、生活文化を支えてきた竹製品について皆様と一緒に考えてみたいと思います。

・竹の特性

特性を生かした日常生活用品や工芸品が作られた。

- ①空洞性 節と節の間が中空（空洞）で、軽く強い。
- ②弾力性 しなる力、そして跳ね返す力がある。
- ③割裂性 細かく割れる性質があり、細かい細工ができる。
- ④伸縮性 成長しきると伸び縮みしないので、物差し等に利用。
- ⑤表情 風情があり、表皮が美しく硬質で、年中緑で若々しい表情がある。

このような竹の特性が総合的に組み合わせられて、さま

さまざまな竹製品が生み出されてきた。

- 日常用品 扇子、暖簾、串、熊手、箒 釣竿、物干しざお
- 建築関係 壁の下地の竹、竹梯子、数寄屋建築
- 家具類 机、椅子、電気笠
- 食器類 籠、箆、竹の皮、竹箸、杓文字、杓子、皿、コップ
- 楽器類 笙、笛類、尺八
- 文具類 筆の軸、筆立て
- 茶華道具 茶筌、茶杓、蓋置、柄杓、建水、花入れ、灰吹、結界
- 度量器具 そろばん、物差し
- 娯楽用品 玩具、竹馬、凧、竹とんぼ、水鉄砲
- 民俗芸能 二月堂お水取り、七夕祭り、竿灯、えびす祭り、神座を作る縄張り
- 武具類 竹刀、弓、矢、竹槍
- 美術工芸品

・竹の成長と伐採

- ①筍として生えて 2~3 か月で完全に成長する。(1日 で 1.2m 伸びた記録もある)
- ②竹の成長の仕方は提灯のように節間が伸びる。
- ③細工に使う竹は 2~3 年生。特に硬さと強度を必要とするときは 4~5 年生を、10 月~1 月の間に伐採する。(成長の休止時期で、材質が締まり虫が付きにくい)

・竹から教わること

- 地下茎を通じ自分の成長と子孫の繁栄を計る。自分の生命維持以外の栄養を新しい竹に送る。地下茎を通して家族生活、社会生活をしているといえる。
- 竹には節があり空洞があるから、しなる力の弾力性、雪の重さに耐える忍耐力があり、また跳ね返す力もある。人生もまた然り。
- 竹は年中無休で働いている。年中緑で覆われているが、実は秋から冬にかけて落葉せず、緑の葉で光合成した栄養を筍に与え、その後落葉するが、その時すでに枝先より順次若葉が生えてくる。それで 5~6 月は落葉のため竹の秋といわれる。

・茶筌について

材料 白竹(淡竹)、煤竹、黒竹(紫竹)、青竹

- 白竹 裏千家、藪の内、遠州流、石州流、松尾流、金森宗和流、細川三斎流
- 煤竹 表千家、裏千家貴人点の時
- 黒竹 武者小路千家、山田宗偏流
- 青竹 初釜用

制作工程

- ①生地取り(逆竹に取る)、②片木(へぎ)、③小割り、④味削り、⑤面取り、⑥下編み、⑦上編み、⑧仕上げ

糸の色

通常は木綿の黒糸であるが、流派、用途によって異なる

- 白糸 裏千家供茶、献茶用 石州流、織田有楽流、細川三斎流
- 赤糸 一般にお祝い用として
- その他 初釜用、七夕の茶会で若草色の糸、クリスマスやひな祭り、紅葉の時期の茶会での3糸、端午の節句での吹き流しの

色糸など

寸法と節の位置

用途により異なる。筒茶碗用 4 寸 2 分、一般的には 3 寸 7 分と 3 寸 9 分、茶箱用 3 寸 5 分、野点用 3 寸 2 分など。

節の位置 ふつうは中節、他に節止め、節無し

・茶筌の技術習得の修行

明治末期まで、製法は一子相伝の技として伝承され、客人のくる昼間は農作業などをし、夜になると家族で集まって茶筌作りを行っていました。また、その製法は、書物などには残さず、口伝で長男にのみ引き継がれたといいます。それはひとえに他地方への技法流出を防ぐためと言われていています。終戦後はまったく自由になりました。

歴代茶筌作りが続いている家では、祖父や父が唯一の師匠といえます。そのため、その作風にはその家の個性、代々受け継がれてきた伝統が形となって出ることになります。

先代から教わったことは、竹というものは形や硬さ、同じものは2つとしてない、とにかくたくさん竹に触れてみなければ何もわからないということで、作業についても、あれこれと言葉で聞くのではなく、目で盗み、音を耳で聞いて、実際にやってみる。「習うより慣れよ」ということに尽きると思います。

【例会ご案内】

<2月から例会場は「榎原神宮 養正殿」です>

2月2日(金)

休会

2月9日(金)《第1例会》

特定非営利活動法人 奈良芸能文化協会

副理事長 山口佳恵子氏

担当:国際奉仕委員会

2月16日(金)《第2例会》

「ライフスタイルの維持か変化?

悪習慣、変える意思はありますか?」

太成学院大学 人間学部心理カウンセリング学科

准教授 河野梨香氏

担当:首藤恭子会員

2月22日(木)《第3例会》

やまとまほろば RC 合同夜間例会

ホスト:やまとまほろば RC

【同好会】

書道同好会

2月9日(金) 午後2時~於:奈良県業業会館

【RAC 例会】

[榎原オークホテルにて、午後7時30分~9時]

2月10日(土)《第1例会》

小学生向けクイズ大会

2月28日(水)《第2例会》

専門能力②

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。